

簿記一巡の手続き



ここでは、3級で学習した内容を前提として、簿記一巡の手続きを確認する。

Date.1 /

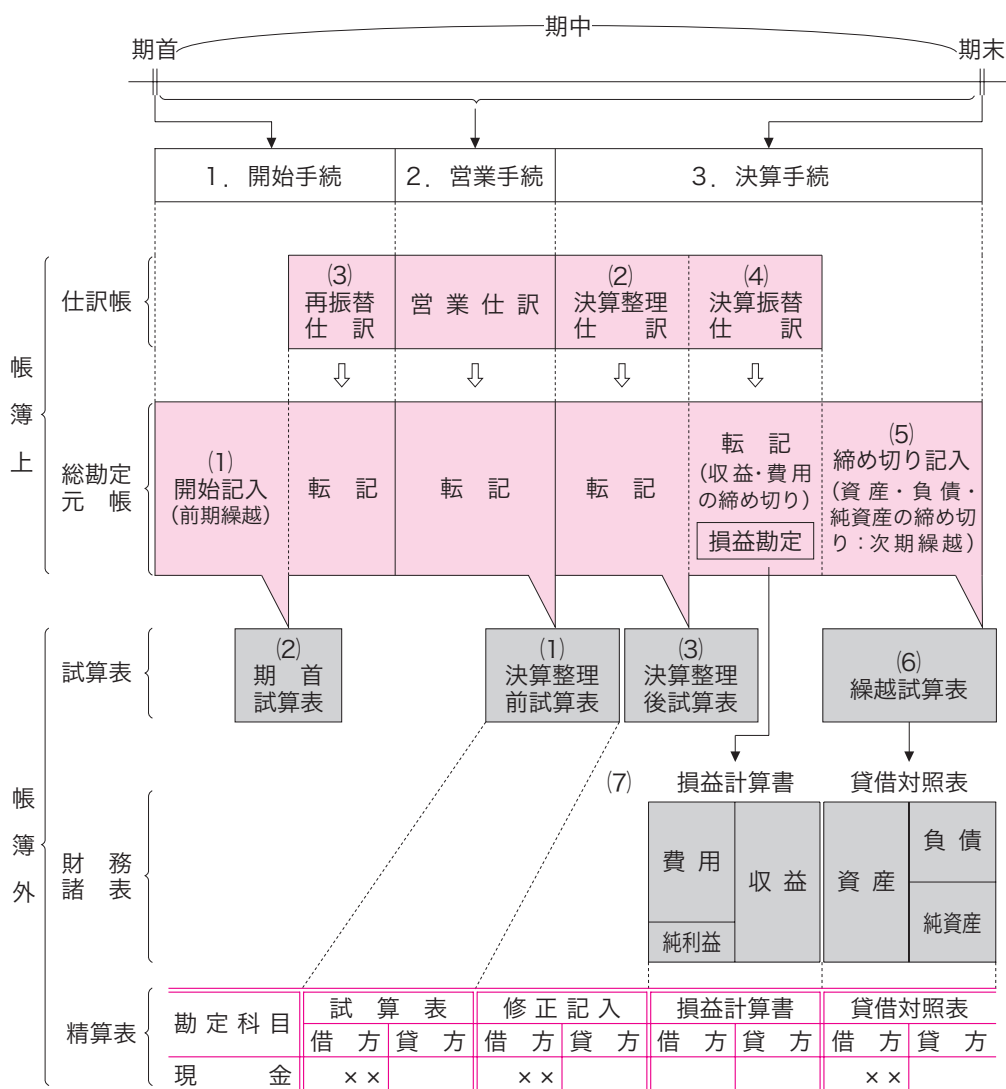
Date.2 /

Date.3 /

1 簿記一巡の手続き

3級で学習済み

簿記の処理は会計期間を前提としており、その手続きは、^{かいし てつづき}開始手続、^{えいぎょう てつづき}営業手続および^{けっさん てつづき}決算手続からなっている。これを整理すると、次のようになる。



1. 期首の処理：開始手続

(1) 開始記入

前期より繰り越された資産・負債・純資産の諸勘定の金額を「前期繰越」として、該当する勘定に記入する。なお、この開始記入について仕訳は行わない。勘定の借方または貸方に直接記入を行う。

繰越試算表(一部)

平成×1年12月31日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
5,000	現 金	
	⋮	
	買 掛 金	2,000
	⋮	
	資 本 金	3,000
× ×		× ×

現 金	買 掛 金
1/1 前期繰越 5,000	1/1 前期繰越 2,000
	資 本 金
	1/1 前期繰越 3,000

(2) 期首試算表の作成

開始記入を検証するため、試算表を作成する。この試算表を「期首試算表」という。

(3) 再振替仕訳

一定の項目について、再振替仕訳を行う。再振替仕訳は、前期末に行われた決算整理仕訳の一部について、これを「元に戻す」ために行われる。

たとえば、簿記3級の学習範囲においては、「費用・収益の見越し・繰延べ」が再振替仕訳の対象となる。

2. 期中の処理：営業手続

期中の「取引」についてこれを仕訳し、勘定に転記する。また、必要に応じて試算表を作成する。



3. 期末の処理：決算手続

(1) 決算整理前試算表の作成

決算に先立ち、期中処理に誤りがないかを検証するために試算表が作成される。この試算表を**決算整理前試算表（前T/B）**という。

(2) 決算整理

期末において、適正な期間損益計算と適正な財政状態を把握するために行われる調整の処理を**決算整理**という。商品売買取引に係る「売上原価の算定」、各種の「引当金の設定」、固定資産に係る「減価償却」などがこれに該当する。

① 売上原価の算定：仕入勘定で算定

販売された商品の原価を売上原価といい、次の計算により求める。

$$\text{売上原価} = \text{期首商品棚卸高} + \text{当期商品仕入高} - \text{期末商品棚卸高}$$

上記の算式にもとづき、当期の仕入高を記録する仕入勘定で売上原価を明らかにする。

(仕 入)	× ×	(繰 越 商 品)	× ×
(繰 越 商 品)	× ×	(仕 入)	× ×

② 貸倒引当金の設定

期末の売上債権等の残高について将来の貸倒れを見積り、貸倒引当金を設定する。なお、その処理は貸倒見積額から貸倒引当金勘定の残高を差し引いた差額部分について行う（差額補充法）。

$$\begin{aligned} \text{貸倒見積額} &: \text{売上債権残高} \times \text{貸倒実績率} \\ \text{貸倒引当金繰入額} &: \text{貸倒見積額} - \text{貸倒引当金残高} \end{aligned}$$

(貸倒引当金繰入)	× ×	(貸 倒 引 当 金)	× ×
-----------	-----	-------------	-----

③ 減価償却

建物、備品等の固定資産について、定額法等の計算により減価償却費を計上する。

$$\text{定額法による減価償却費} = (\text{取得原価} - \text{残存価額}) \div \text{耐用年数}$$

また、その記帳方法には、直接法と間接法がある。

④ 直接法

(減 価 償 却 費)	× ×	(固定資産の諸勘定)	× ×
-------------	-----	------------	-----

⑤ 間接法

(減 価 償 却 費)	× ×	(減価償却累計額)	× ×
-------------	-----	-----------	-----

④ 費用・収益の見越し・繰延べ

期間の定めのある費用・収益について、その期間が当期と次期にまたがっているとき、見越し・繰延べを行う。

① 費用の繰延べ

当期に支払った費用の金額のうち、次期分の費用の金額を繰り延べる。

(前払費用)	××	(費用の諸勘定)	××
--------	----	----------	----

② 収益の繰延べ

当期に受け取った収益の金額のうち、次期分の収益の金額を繰り延べる。

(収益の諸勘定)	××	(前受収益)	××
----------	----	--------	----

③ 費用の見越し

当期に支払っていない、当期分の費用の金額を見越す。

(費用の諸勘定)	××	(未払費用)	××
----------	----	--------	----

④ 収益の見越し

当期に受け取っていない、当期分の収益の金額を見越す。

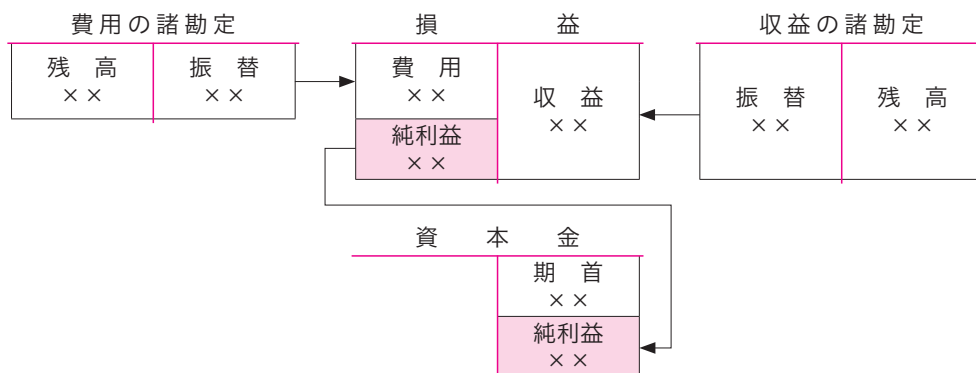
(未収収益)	××	(収益の諸勘定)	××
--------	----	----------	----

(3) 決算整理後試算表の作成

決算整理の処理に誤りがないかを検証するために試算表が作成される。この試算表を**決算整理後試算表（後T/B）**という。

(4) 決算振替

「損益」勘定を設定し、決算整理後の費用・収益の諸勘定を損益勘定に集計することにより当期純利益を算定する。この手続きを**決算振替**という。



〈決算振替仕訳〉

① 収益の振り替え

収益の諸勘定の残高を損益勘定の貸方へ振り替える。

(収益の諸勘定)	××	(損益)	××
----------	----	------	----

② 費用の振り替え

費用の諸勘定の残高を損益勘定の借方へ振り替える。

(損益)	××	(費用の諸勘定)	××
------	----	----------	----

③ 当期純利益の振り替え

損益勘定の貸方残高は「当期純利益」として一定の純資産の勘定の貸方に振り替える。個人商店（３級）の場合は、**資本金**に振り替えるが、株式会社（２級）の場合は、元手と利益を区別する必要があるため、**繰越利益剰余金**に振り替える。なお、繰越利益剰余金の内容は後述する（テーマ11を参照）。

〈個人商店〉

(損益)	××	(資本金)	××
------	----	-------	----

〈株式会社〉

(損益)	××	(繰越利益剰余金)	××
------	----	-----------	----

(5) 締切記入

資産・負債・純資産の諸勘定の残高を次期に繰り越すため「次期繰越」として、該当する勘定に記入する。なお、この繰越の記入について仕訳は行わない。勘定の借方または貸方に直接記入を行う。

資産の諸勘定		負債の諸勘定	
残高	次期繰越	次期繰越	残高
××	××	××	××

純資産の諸勘定	
次期繰越	残高
××	××

(6) 繰越試算表の作成

繰越の記入に誤りがないかを検証するため、試算表を作成する。この試算表を**繰越試算表**という。

(7) 財務諸表の作成

- ① 「損益」勘定より損益計算書を作成する。
- ② 「繰越試算表」より貸借対照表を作成する。

東京商店（決算日 12 月末）の以下の〔A〕～〔C〕の資料にもとづいて、次の各問に答えなさい。なお、商品売買の取引は三分法による。また、解答にあたり、以下の〔仕訳帳〕〔総勘定元帳〕を使用しなさい。

- 問 1 資料〔A〕および資料〔B〕により、決算整理前残高試算表を作成しなさい。
 問 2 資料〔C〕により、決算整理後残高試算表を作成しなさい。
 問 3 損益勘定と繰越試算表を作成しなさい。
 問 4 損益計算書と貸借対照表を作成しなさい。

〔A〕前期末（平成×1 年 12 月 31 日）における繰越試算表

繰 越 試 算 表		
平成×1年12月31日		
借 方	勘 定 科 目	貸 方
235,000	現 金	
62,000	売 掛 金	
50,000	繰 越 商 品	
3,000	前 払 家 賃	
250,000	備 品	
	買 掛 金	55,000
	未 払 給 料	15,000
	貸 倒 引 当 金	3,000
	減価償却累計額	27,000
	資 本 金	500,000
600,000		600,000

* 前払家賃、未払給料について再振替仕訳を行う。

〔B〕期中取引

- ① 商品 370,000 円を仕入れ、代金は掛けとした。
- ② 商品（原価 385,000 円、売価 520,000 円）を販売し、代金は掛けとした。
- ③ 売掛金 445,000 円を現金で回収した。
- ④ 買掛金 320,000 円を現金で支払った。
- ⑤ 前期に発生した売掛金 2,000 円が貸し倒れた。
- ⑥ 給料 40,000 円を現金で支払った。
- ⑦ 向こう 1 年分として家賃 12,000 円を現金で支払った。

〔C〕決算整理事項

- (1) 期末商品棚卸高は 35,000 円である。なお、売上原価を仕入勘定で算定する。
- (2) 売掛金の期末残高に対して 4 % を貸倒引当金として計上する（差額補充法）。
- (3) 備品に対し、残存価額は取得原価の 10 %、耐用年数は 5 年の定額法により減価償却を行う。
- (4) 次期分の家賃 2,400 円を繰り延べる。
- (5) 給料の未払分 18,000 円を見越計上する。